

月形町社協だより

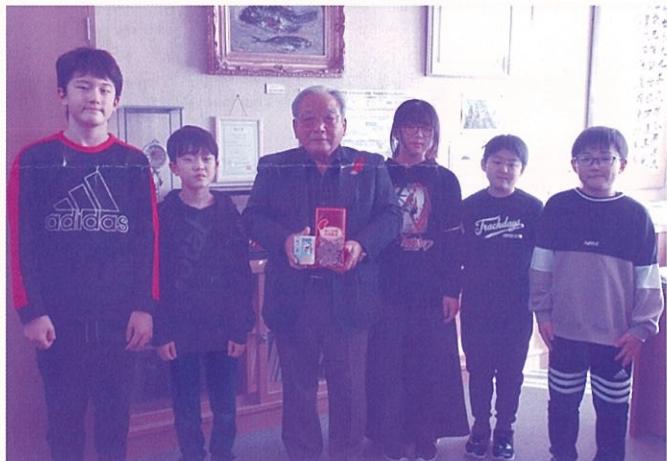
2023年(令和5年)12月5日

ふれあい

第127号

発行／社会福祉法人 月形町社会福祉協議会 〒061-0511 樽戸郡月形町1064番地13
月形町交流センターつき・あえ～る内 TEL0126-53-2928 FAX0126-53-2927

赤い羽根共同募金
ご協力ありがとうございました！



月形小学校の皆さん



月形中学校の皆さん



月形高校の皆さん

もくじ

- ・歳末たすけあい運動／福祉総合学習／福祉除雪サービスのご案内 2
- ・ボランティアスクール／あずまし茶屋／サロン通信 3
- ・子育てサロン「まんまるカフェ」／支援センター通信 3
- ・まちかどインタビュー／今月の予定／編集後記 4



この社協だよりは赤い羽根共同募金の助成金によって発行しています

歳末たすけあい運動

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設等の関係機関・団体の協力のもと、12月1日～12月29日の期間で実施します。月形町共同募金委員会では、集めた募金を翌年度の事業としてボランティア団体などが取り組んでいる様々な福祉活動や、地域住民・各種団体が協働で推進する地域たすけあい活動、サロン活動などへ助成します。ご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金イベント募金

参加イベント: まんまるマーケット、月形夏まつり、金魚祭り、
刑務所矯正展、町民文化祭、お楽しみ交流会



合計23,177円の募金が集まりました。

今年もイベント募金にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

◆ 福祉綜合學習

今年度も、小学1年生、3年生、5年生の福祉総合学習の協力をしています。1年生の皆さん
は、あずまし茶屋に参加し、高齢者の方々と交流。ミュージックファミリーさんのミニコンサート
と一緒に楽しみました。

3年生の皆さん、手話、車椅子、目隠しアイマスク体験でした。手話体験では、岩見沢ろうあ協会にご協力頂き、自己紹介やジェスチャーゲームを学びました。

5年生の皆さん、雪の聖母園の就労支援センター「オプス」に訪問し、利用者さんと一緒に納豆に使う大豆の選別や納豆の仕込みのお手伝いを体験しています。



*福祉除雪サービス案内

対象者 一人暮らしの高齢者、全員が70歳以上の世帯、見守りの対象世帯、
障害のある方、病気やケガ等のため一時的に援助が必要な方
(※冬期間不在の場合は対象外)

除雪内容 玄関等出入り口付近や危険な状態にある窓付近を除雪。

料 金 1時間あたり800円。

申請 「申請書」を提出して頂きます。(申請書は社協にあります)



※決定通知到着後は、必要な都度電話で申し出るだけでサービスを受けることができます。(毎年申請が必要です。)

お問い合わせ 月形町社会福祉協議会 電話・IP 53-2928

*除雪ボランティアについて

高齢者や障がい者等で援助を差し伸べる必要がある世帯に対して、ボランティア団体の援助活動による、居住する住宅(屋根の雪下ろしを除く)に、ご協力を頂いています。

令和4年度は、5団体35名で23世帯の除雪活動協力を頂きました。回数にして411回延べ人数516名を数えました。除雪をしてもらった高齢者の方々からは、「本当に助かります。」と感謝の言葉を頂いています。本格的な降雪期を迎えるにあたり、今年度も各団体にご協力依頼を致します。どうぞ、よろしくお願い致します。

◇ボランティアスクール(秋)開催! 11月11日(土)

今回は映画「大地の侍」を上映し、北海道の開拓の歴史について幅広い世代が町の歴史を学ぶ伝承活動の場として開催しました。当日は悪天候でしたが、50名以上に来ていただき、上映終了後は拍手で盛大に終わることができました。



◇あづまし茶屋 11月7日(火)開催

ボランティアさん手作りの、ケーキやマドレーヌ・おはぎ・みたらし団子・ぜんざいなど15種類が並んだ「豪華なスイーツ・バイキング」。どれから食べようか悩む事もなく皆さん全種類を堪能。甘い物は人を笑顔にしてしまう様です。お抹茶の体験コーナーも大盛況、茶筅で点てられたお茶のまろやかさに驚きの声が上がっていました。



サロン通信

赤川1サロン(11月8日開催)

運動不足解消に「ふまねっと運動」を楽しみました。しっかり準備運動し、身体のこりも少しほぐれたでしょうか。



赤川3サロン(11月17日開催)

毎年恒例の一足早い忘年会を行いました。持ち寄った景品で、ビンゴゲームをして、楽しみました。



◇子育てサロン「まんまるカフェ」

10月21日(土)に2回目のまんまるカフェを開催し、2組が参加してくれました。今回は、「ハッピー・ハロウィン!!お菓子をゲット!!」ということで、仮装した子どもたちがお菓子をもらいに近所を探索して回りました。ご近所の皆様にご協力いただき、各家でお菓子やおもちゃをもらった子どもたちは大興奮!「お菓子をくれないと、いたずらするぞ!」と大きな声でお家に突撃していました。みんながニコニコの楽しいハロウィンとなりました。



支援センター通信

食欲の秋!満喫しています!

アート展の出展も無事に終わり、畑の収穫、冬支度が始まります。秋と言えばやっぱり「食欲の秋」。毎年恒例の焼き芋パーティーや畑で取れた野菜で調理実習を楽しんでいます。自分たちで育てた野菜で作つた料理は格別に美味しいです。どうしよう…太っちやう…。



毎年お手伝い
いただく釣崎さんと一緒に
薪で焼き芋づくり

まちかどインタビュー

今回のまちかどインタビューに答えてくれたのは「あずまし食堂」でおなじみ!実は支援センターの昼食ボランティアも担ってくれている齋藤 香さんです。食について「食育アドバイザー」と「介護食アドバイザー」の資格を持つ齋藤さんにお聞きしました!!



今回は前田・高谷でお送りします

- Q まずはその歴10年以上!支援センターむう～んでの昼食ボランティアを始めるきっかけは?
- A 仲のいい知り合いが昼食ボランティアをしていて、誘われたのがきっかけです。ボランティアを始めたころ中学生だった子供たちも大人になりました。
- Q あずまし食堂はむう～んでのボランティアとは比べられない食数を作成して頂いていますが、やりがいを感じることを教えてください。他、困っていることも…。
- A 困っていることはありません。あずまし食堂のボランティアさんはみんな仲良しでワイワイやっています。来てくれたお客様たちが、「美味しかったよ」とか、「作り方教えて」など毎回嬉しい言葉をかけてくれるので、やりがいを感じています。また、メニュー作りも困ったことはありません。



毎日の献立に苦労している私…
尊敬します。



- Q ほかにやってみたいボランティアはありますか?
- A こども食堂とか? 最近は共働き世帯が多いし、お母さんも忙しい。昔のような大人数での食卓も楽しそう。
- Q 趣味・特技は?
- A 趣味はDIY・料理。あと色々な資格をとること。特技は基本人見知りだが、どこでもなじめるように努力している。(みんなには人見知りは嘘だと思われている笑)
- Q 好きな有名人
- A 濑戸内寂聴・相田みつを～二人の言葉に感銘を受けています。

取材を終えて~

終始笑いの絶えない楽しい取材となりました。沢山のボランティアに参加している姿を誰もが見たことがあるのではないでしょうか。主婦の先輩としても素敵だなと思います。料理の腕もすごく、修行をつけてもらいたいと思いました。(スバルタでしょうか…笑)

次回 齋藤さんから、本多大輔さんにバトンタッチ!お楽しみに!!

○12月の予定○

12月2・16日(土)	どようびサロン	12月13日(水)	赤川1サロン
12月 5日(火)	あずまし茶屋	12月14日(木)	市南サロン
12月 6日(水)	まんまるカフェ	12月20日(水)	市北6サロン
12月 9日(土)	ボランティア講習会	12月21日(木)	北農場1サロン

詳しくはホームページをチェック!

Facebookの
QRコードは
こちら!



編 集 後記

残すところ、あと1か月となりました。コロナウイルス感染症も第5類になり、少しずつ事業も開催できるようになりました。今年も社協の事業に沢山のご協力をいただき、ありがとうございます。

今年の冬はエルニーニョ現象の影響で暖冬のようですが、それでも月形町は雪が多い予感…。

除雪時の事故には十分に気をつけ、よい新年をお迎えください。

Y・M